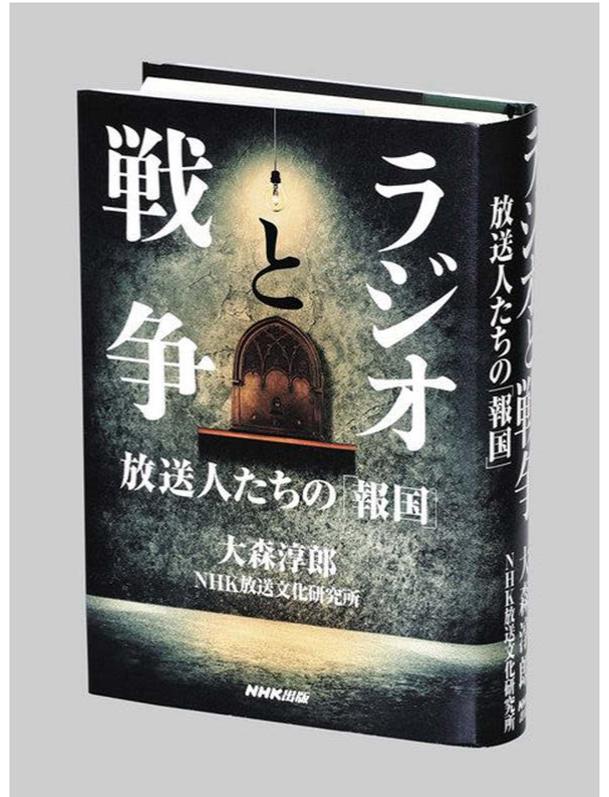


「ラジオと戦争」の著者が語る放送人の報国

「新たな戦前」と評される日本。一方で、権力に忖度し、自主規制がはびこる報道が批判され、今や報道の自由度ランキングは世界180か国中70位(2024年)と低迷している今、改めて戦前の戦争と言論抑圧の時代のNHKの「報国」を振り返る意味は決して小さくはない。著者の大森淳郎さんはNHKのディレクターとして数々の秀逸な番組を制作された方で、その長い放送現場での経験を通じて感じてこられた現在のNHKの課題、メディアの危機についても話していただく予定です。



12月21日(土) 13:30~15:30 サンフォルテ 307・308
参加費 1000円(高校生以下無料)



【講師：大森淳郎さん】

1957年埼玉県生まれ。1982年NHK入局。初任地は富山放送局。主にE TV特集を手掛ける。2016年に放送現場を退き、NHK放送文化研究所に勤務。2022年退職。著書に『BC級戦犯 獄窓からの声』(日本放送出版協会、2009年)、『ホットスポット ネットワークでつくる放射能汚染地図』(講談社、2012年)、『ラジオと戦争』(NHK出版、2023年)。